

3 協働事業実施状況（平成24年度）

No.	協働事業の名称 (担当課)	実施区分 協働事業の目的	実施事業内容等
1	自治基本条例の子ども向け冊子編集ボランティアによる編集事業 (市民自治推進課)	例年実施 (平成23年度から継続実施) ○自治基本条例を幅広い世代に周知するために、子供向けの冊子を編集する。	【実施事業、実施年月日、事業内容等】 ○自治基本条例子ども向け冊子の編集作業 平成24年4月25日、平成24年5月24日、平成24年7月11日 平成24年8月23日、平成24年9月24日、平成25年3月22日 【参加人数、関係団体等】 公募に応じた市民（5人） 【反響等】 中学生を対象とした理解しやすい冊子を作成するため、編集作業を通じて市民からの視点を得ることができた。
2	国際交流に係る市民の参加促進 (市民自治推進課)	例年実施 (平成20年度から継続実施) ○外国人とのふれあいを通じて国際理解を深め、草の根による国際交流を推進する。	【実施事業、実施年月日、事業内容等】 ○国際交流サロンを通じた各種事業（通年） 【参加人数、関係団体等】 ホームステイ受入ボランティア登録者数（39人） ボランティアによるホームステイの受入実績（39家庭） ホストファミリーのための英会話教室参加者（11人） 外国人のための日本語教室参加者（15人） 【反響等】 国際交流サロンの事業を通じ、市民には本市に来訪者があった際のホストファミリーとして、在住外国人にはイベントなどで市民の国際理解を深めるための協力を得ている。
3	地区別津波避難計画の作成 (危機管理室)	単年度（新規）実施 ○津波浸水が予測される区域内の住民が津波被害から命を守るため、地区住民一人ひとりが意識を高め、お互いに助け合い、津波が到達するまでに安全な場世へ迅速に避難することを目的に「地区別津波避難計画」を作成する。	【実施事業、実施年月日、事業内容、参加人数、関係団体等】 ○地域別津波避難計画の作成 南錦岡町内会 平成24年11月11日（17人） 平成25年2月24日（22人） 勇払自治会 平成24年10月19日（31人） 平成24年11月22日（23人） 平成25年2月22日（28人） 錦糸町内会 平成24年10月18日（18人） 平成24年11月8日（16人） 汐見町内会 平成24年11月10日（33人） 平成24年12月10日（32人） 平成25年2月10日（33人） 樽前町内会 平成24年11月13日（6人） 平成24年11月27日（9人） 平成25年2月13日（29人）

No.	協働事業の名称 (担当課)	実施区分 協働事業の目的	実施事業内容等
4	災害時要援護者避難 支援プラン (危機管理室)	例年実施 (平成19年度から継続実施) ○大規模災害時に自力では避難が 困難な要援護者からの申出により 事前に自主防災組織等支援者へ情 報提供し、万が一災害が生じた場 合に円滑に避難できるようにする 。	【実施事業、実施年月日、事業内容等】 災害時要援護者避難支援プランについての説明会 (平成24年5月29日 本庁9階会議室) 【参加人数、関係団体等】 24町内会(44人) 【反響等】 要援護者の災害時の不安が解消された。
5	まちづくりトーク 「魅力ある地域づく りのために～市と町 内会との協働につい て～」 (市民生活課)	単年度(新規)実施 ○市民(町内会関係者)と市長と が意見交換を行い、町内会の加入 促進に向けた取組や市との協働に よる魅力ある地域づくりの実現に 向けた課題等について考える。	【実施事業、実施年月日、事業内容等】 ○まちづくりトーク 「魅力ある地域づくりのために～市と町内会との協働について～」 (平成25年3月26日 市民会館小ホール) 【参加人数、関係団体等】 100人(一般参加市民、町内会役員、民生委員) 苫小牧市町内会連合会との共催事業 【反響等】 アンケート結果から、役立つ内容だったとの回答が多く、今後も町内会活動に関する先進事例 などの情報を発信して欲しいという意見があり、市と町内会が協働で地域づくりを行っていく契 機となった。 他の町内会の取組や講師の公演による取組例等を参考にして、自分たちの町内会で活用しよう と考える町内会があった。
6	「消費者月間」街頭 啓発 (安全安心生活課)	例年実施 ○消費者被害防止の情報提供と市 消費者センターの活用について街 頭啓発により、消費者被害防止に 対する意識の向上を図る。	【実施事業、実施年月日、事業内容等】 啓発資材(情報提供のチラシと絆創膏 1,000部)の配布 (平成24年5月11日) 【参加人数、関係団体等】 苫小牧消費者協会 外4団体(17人)の協力

No.	協働事業の名称 (担当課)	実施区分 協働事業の目的	実施事業内容等
7	みんなの消費生活展 (安全安心生活課)	<p>例年実施 (昭和54年度から継続実施)</p> <p>○暮らしに役立つ知識や情報を提供し、消費者意識の高揚を図る。</p>	<p>【実施事業、実施年月日、事業内容等】 平成24年11月17日・18日</p> <p>【参加人数、関係団体等】 来場者数 2日間(555人) 苫小牧消費者協会 外16団体(約120人 ステージ参加を含む。) ・民間出展9団体 約80人 ・消費生活展併設の「福祉・消費者ふれあい市場」出店7団体 約40人</p> <p>【反響等】 出展した消費者団体等の取り組みを通じて消費者意識の高揚が図られた。</p>
8	女性に対する暴力をなくす運動の啓発事業 (男女平等参画課)	<p>単年度(新規)実施</p> <p>○女性に対する暴力防止の啓発活動</p>	<p>【実施事業、実施年月日、事業内容等】 平成24年11月12日～平成25年3月31日 協力団体人数 17人 パープルリボン、リーフレットの配布</p> <p>【参加人数、関係団体等】 苫小牧市クローバーの会、NPO法人ウィメンズ結</p> <p>【反響等】 啓発用のリーフレットを公共施設などの女性用トイレ17か所に備え付け、女性に対する暴力をなくす運動の啓発事業を実施した。苫小牧市クローバーの会会員がリーフレットの補充を担当し、施設などの職員の理解と協力を得ることができた。 また、多くの市民に暴力が絶対にあってはならないことや被害にあっている方にも関心を持ってもらう目的を十分に果たすことができた。</p>
9	女性の人権講演会 (男女平等参画課)	<p>例年実施 (平成18年度から継続実施)</p> <p>○DV被害者支援活動を行っているNPO法人ウィメンズ結と協働企画し、講演会を実施。DV被害者の実情や被害者に及ぼす影響等を学びDV防止の認識を深める。</p>	<p>【実施事業、実施年月日、事業内容等】 平成24年11月17日</p> <p>【参加人数、関係団体等】 48人 NPO法人ウィメンズ結との共催事業</p> <p>【反響等】 具体的な事例紹介によりDVの現状が把握でき、参加者の貴重な意見も聞けてDV防止の認識を深めることができた。</p>

No.	協働事業の名称 (担当課)	実施区分 協働事業の目的	実施事業内容等
10	苫小牧市資源リサイクル団体連絡協議会による実施事業 (減量対策課)	例年実施 (平成5年度から継続実施) ○ごみの減量化及び資源の有効活用を目的に、市民と市の協働により集団回収が全市的な運動として促進することで、循環型社会の構築とまちづくりの推進を図る。	<p>【実施事業、実施年月日、事業内容等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○資源回収登録団体225団体（平成25年3月末現在） 活動内容調査による状況把握 ○リサイクルニュース発行、ホームページ、 広報等による資源回収団体への情報提供（ニュース1月発行） ○資源リサイクル団体連絡協議会総会、役員会開催による情報交換、連携強化 ○リサイクル施設の視察研修（10月17日 11団体21人参加） ○リサイクルハウス設置助成による支援（5団体） ○資源回収団体奨励金制度による支援（前期分164団体） 新奨励金制度説明会（2月19日 65団体78人参加） ○空き缶回収かご、空き缶圧縮機の貸出継続による支援 <p>【参加人数、関係団体等】 町内会、老人クラブ、学校・PTA、同好会、各種団体等</p> <p>【反響等】 市民と市民団体と市の連携により、資源回収登録団体数・回収実績も向上しており、ごみの減量化及び資源の有効活用が図られ、循環型社会の構築、まちづくりの推進につながっている。</p>

No.	協働事業の名称 (担当課)	実施区分 協働事業の目的	実施事業内容等
11	苫小牧市エコストア 認定制度 (減量対策課)	例年実施 (平成20年度から継続実施) ○環境に配慮している店舗をエコストアに認定し、広く市民に情報提供することにより、市民と店舗と市が連携してごみの減量化やリサイクル活動に取り組み、循環型社会の構築に向け、環境にやさしいライフスタイルを確立することで、まちづくりの推進を図る。	<p>【実施事業、実施年月日、事業内容等】</p> <p>○エコストア認定店舗に対して認定書及びプレートを交付し、啓発を図る。 ○ホームページ等による市民への情報提供</p> <p>【参加人数、関係団体等】 (エコストア認定登録30店舗名)</p> <p>イオン北海道(株)苫小牧店 ホームワークコーヨー ホクレンショップ沼ノ端店 三野商店 マックスバリュ澄川町店 ホクレンショップ苫小牧店 ヘリテージキムラ コープさっぽろステイ店 コープさっぽろ桜木店 コープさっぽろパセオ川沿店 コープさっぽろ栄町店 大師堂佛壇店 マックスバリュ花園店 マックスバリュ支笏湖通り店 手づくりとお菓子「自家焼」があがあん (株)豊月フードD沼ノ端食彩館 (株)豊月フードDサ・プライス (株)豊月フードD双葉食彩館 (株)豊月フードD見山食彩館 株式会社メガススポーツスポーツオーソリティー苫小牧店 エーコープトマコマイ店 ビッグハウス明德店 炭火・自家焙煎珈琲「えちおび屋」 ビッグハウス光洋店 ラルズマート苫小牧駅前店 ビッグハウス明野店 コープさっぽろときわ店 フードD Vian</p> <p>【反響等】 市民と店舗と市の連携によるリサイクル意識の向上及び環境負荷への低減等が図られ、循環型社会の構築、まちづくりの推進につながっている。</p>

No.	協働事業の名称 (担当課)	実施区分 協働事業の目的	実施事業内容等
12	レジ袋削減に向けた取組 (減量対策課)	<p>例年実施 (平成20年度から継続実施)</p> <p>○レジ袋削減に関する自主協定を締結し、三者一体となってレジ袋削減に向けた取組(レジ袋無料配布中止、マイバッグ持参運動等)を行うことで、ごみの減量化、限りある資源の有効活用やCO₂発生抑制による環境負荷軽減・地球温暖化防止に向け、環境にやさしいライフスタイルを確立し、まちづくりの推進を図る。</p>	<p>【実施事業、実施年月日、事業内容等】</p> <p>○事業者に対するレジ袋削減率等活動内容調査による現況把握(平成23年度実績) レジ通過客数 15,850,782人 袋辞退者数 13,711,193人(辞退率 86.5%) 削減枚数 平成23年度 15,997,345枚 約160t</p> <p>○ノーレジ・マイバッグ持参運動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ等による市民へのレジ袋削減の呼びかけや各店舗の取組などの情報提供 ・各種イベントでのレジ袋削減 ・マイバッグ持参運動PRキャンペーン実施 <p>【参加人数、関係団体等】 (レジ袋削減に関する自主協定を締結)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・苫小牧消費者協会 ・協定締結事業者(7事業者23店舗 平成25年3月現在) イオン北海道株式会社 生活協同組合コープさっぽろ 株式会社豊月 株式会社ホクレン商事 マックスバリュ北海道株式会社 株式会社メガスポーツ 株式会社ラルズ <p>【反響等】 市民と事業者と市の連携によりレジ袋有料化以降マイバッグ持参率も高い率で推移しており、ごみの減量・リサイクル推進及び環境負荷への低減等が図られ、循環型社会の構築、まちづくりの推進につながっている。</p>
13	「ゼロごみの日」の取組(春・秋) (清掃事業課)	<p>例年実施 (昭和62年度から継続実施)</p> <p>○清潔で住みよい町づくりのため自主的に清掃を行い、環境美化と清掃意識の高揚を目的とし、昭和62年度より「まちをきれいにする日」として実施。春と秋の年に2回実施し、平成24年度より「ゼロごみの日」と名称を改め、継続している。</p>	<p>【実施事業、実施年月日、事業内容等】 平成24年4月15日～5月14日 24,158人 平成24年10月1日～10月31日 19,897人</p> <p>【参加人数、関係団体等】 町内会、自治会(春16,097人、秋13,264人参加) 事業所(春2,000人、秋1,232人参加) 学 校(春4,335人、秋4,766人参加) 子供・老人クラブ等その他の参加団体(春1,726人、秋635人参加)</p> <p>【反響等】 町ぐるみで清掃を行うことで、市民の環境美化意識が高まった。</p>

No.	協働事業の名称 (担当課)	実施区分 協働事業の目的	実施事業内容等
14	苫小牧市環境基本計画推進会議による実施事業 (環境保全課)	例年実施 (平成16年度から継続実施) ○環境基本計画を推進するために、市民、事業者、行政の三者で構成し、事業の企画及び実施に向けた実践的な行動を行う。	【実施事業、実施年月日、事業内容、参加人数等】 ○苫東・和みの森もりづくり体験（平成24年8月6日 30人） 森林保全のための枝払いなどを実施 ○実践！エコドライブ講習会（平成24年9月22日 12人） エコドライブを講習及び実車にて実践 ○エコ標語・エコポスターコンクール（平成24年7月17日～9月28日） 小中学生を対象に地球温暖化・ごみ減量等の身近な題材を元に日頃の環境問題に子供の視点で標語及びポスターを作成 ・エコ標語844点 ・エコポスター126点 ※ ゼロごみ推進室と共催 ○エコ学習ツアー（平成24年10月17日 10人） 市内の企業や施設にて太陽光発電・廃棄物発電などの環境保全の取組を見学 ○エコ・クッキング教室（平成25年2月4日 58人） 保温調理など省エネにつながる料理方法を実践することにより、環境にやさしい取組の一環を学ぶ。
15	健康づくり標語の募集 (健康支援課)	単年度（新規）実施 ○標語を募集することにより、健康増進計画策定の周知と健康づくりへの市民参加を図る。	【実施事業、実施年月日、事業内容等】 平成24年9月1日～平成24年10月31日 【参加人数、関係団体等】 174人応募（延べ） 【反響等】 健康づくり標語の入賞作品（計6点）及び特別賞（1点）は、苫小牧市健康増進計画に掲載しており、今後、市の健康づくり事業等の中で広く活用していく。
16	トマコマイクリアップ・サポーター制度による管理 (緑地公園課)	例年実施 (平成14年度から継続実施) ○住民等のボランティアにより、道路や公園などの公共施設の清掃活動を行うことで、清潔で美しい街を作る。	【実施事業、実施年月日、事業内容、参加人数等】 平成24年度 登録団体数（31団体・3個人） 登録者数 1,791人 （うちパークゴルフ場維持管理を中心とした団体 13団体） 【関係団体等】 同上 【反響等】 地域内の道路や公園がきれいに保たれている。また、パークゴルフ場は、芝刈り等の作業をしていただいております、多くの利用者に喜ばれている。

No.	協働事業の名称 (担当課)	実施区分 協働事業の目的	実施事業内容等
17	錦大沼公園ハナショ ウブ園の維持管理 (緑地公園課)	<p>例年実施 (平成22年度から継続実施)</p> <p>○錦大沼公園内のハナショウブ園において、ハナショウブの会の会員と市職員と共に、草取りや株分け、茎切などの作業を行い、経費削減と共にハナショウブ園の持続的な維持管理を行うことを目的としている。</p>	<p>【実施事業、実施年月日、事業内容、参加人数等】</p> <p>各年 1回目（5月下旬～6月上旬の1日） 約10人（他 市職員約20人） 2回目（6月下旬～7月下旬の1日） 約10人（他 市職員約20人） 3回目（8月上旬～8月中旬の1日） 約10人（他 市職員約20人）</p> <p>【関係団体等】</p> <p>苫小牧ハナショウブの会 ・苫小牧ヤクルト販売株 ・(有)アートスタジオNON ・マルゼン食品(株) ・(株)苫小牧中野自動車学校 ・公益社団法人苫小牧地方法人会 ・一般社団法人苫小牧観光協会 ・北光印刷(株) ・(株)華紋</p> <p>【反響等】</p> <p>きれいなハナショウブ園の維持と除草業務費が削減されている。 また、市民団体との共同作業によるPR効果がある。</p>
18	障がい者IT学習支 援事業 (生涯学習課)	<p>例年実施 (平成19年度から継続実施)</p> <p>○行政とボランティア団体がパートナーシップ協定を結び、まちづくりに関する地域の目標や課題を共有し、相互の役割分担を明確にしながら、対等の関係で協力し合い、本市の生涯学習を推進する。</p>	<p>【実施事業、実施年月日、事業内容、参加人数等】</p> <p>○肢体障がい者パソコン教室 平成24年5月25日～平成25年2月22日（計15回） 受講89人 ボランティア125人</p> <p>○視覚障がい者パソコン教室 平成24年5月16日～平成25年2月6日（計15回） 受講110人 ボランティア127人</p> <p>【関係団体等】</p> <p>障がい者パソコンボランティア友の会 身体障害者福祉連合会（視覚障害者協会・肢体障害者協会） パソコン教室受講者</p> <p>【反響等】</p> <p>協働の過程を通じて、ボランティア団体の構成員である市民が地域の主体としての自覚を深め、市民相互又は市民及び市における理解と信頼が深まることができた。</p>

No.	協働事業の名称 (担当課)	実施区分 協働事業の目的	実施事業内容等
19	苫小牧市成人式の企画立案 (生涯学習課)	例年実施 ○成人式の式典の企画立案や成人式当日の運営に参画することで、主体的に行動する苫小牧市民としての自覚を深め、今後の積極的な生涯学習活動への参加を促す。	<p>【実施事業、実施年月日、事業内容等】</p> ○成人式実行委員会 第1回 平成24年9月12日 第6回 平成24年11月21日 第2回 平成24年9月26日 第7回 平成24年12月5日 第3回 平成24年10月10日 第8回 平成24年12月19日 第4回 平成24年10月24日 第9回 平成25年1月9日 第5回 平成24年11月7日 ○リハーサル ○式典 平成25年1月12日 平成25年1月13日
20	地域合同巡回指導 (青少年課)	例年実施 (平成15年度から継続実施) ○青少年の非行防止や不審者などからの子どもを守るため、町内会と教育委員会の協力体制の構築を目的とする。	<p>【実施事業、実施年月日、事業内容、参加人数等】</p> 平成24年8月1日 11人 平成24年8月2日 17人 平成24年6月3日 12人 累計40人

No.	協働事業の名称 (担当課)	実施区分 協働事業の目的	実施事業内容等
21	リーダー養成事業 (青少年課)	<p>例年実施</p> <p>○ 様々な体験活動から積極的に社会参加するたくましい青少年を育成する目的でリーダー養成事業を行っているが、本事業はNPO法人苫小牧市子ども会育成連絡協議会の後援事業でもあり苫子連主催の各種事業もリーダー養成認定事業であることから、各種事業に参加することでポイントが得られ、リーダー認定を行う制度を協働で行っている。</p>	<p>【実施事業、実施年月日、事業内容、参加人数等】</p> <p>子ども会スポーツ交流会 平成24年9月1日 17人 " 交流会 平成24年10月6～7日 54人 " カルタ大会 平成24年11月18日 50人 子ども芸術祭 平成25年2月16日～17日 513人</p> <p>【関係団体等】</p> <p>NPO法人苫小牧市子ども会育成連絡協議会</p> <p>【反響等】</p> <p>子ども達の育成について、市が単独で事業を実施するより協働して計画及び実施することで子ども達に多くの学習機会の提供をすることができ、また、多様な意見を聴取することで更なる事業の発展に繋がっていると考えている。</p>